

今月の
テーマ

人間力が危ない

先月号で、新社会人へのメッセージと思いを並べた中に、「家庭や学校や社会から人を育てるという機能が失われつつある」ということを書いていて、ふと思った。自分で書いておきながら言うのも何だが、それを見て妙な不安を覚えた。なんとも不思議だが、これは想定をはるかに超える危機的な状況なのではないかと思えてきたのである。単純に新社会人だけの問題ではないような気がしてきた…。読者の皆さんには、またまたコイツは面倒くさいことを言い始めたと思われるだろうが、なんだか書かずにはいられない。

人類は急速な進歩を遂げてきた。昔なかった電化製品などは暮らしを劇的に変化させたし、交通手段も衣も食も住もすべて進化した…。物理的なものだけではない。金融システムも規則も法律も、社会が複雑化するのに合わせて、一見合理的に暮らしやすいように整備されてきた。まさに“人間なればこそ”的なセイのなせる業だ。“その何が悪い”と叱りも受けそうだが、果たして進歩した半面で失われたものは無いのだろうか…? なにか、大切なものを置き忘れているような気がしてならない。以前の号でデジタル社会について触れ、私たちの暮らしを劇的に変化させてきたことを書いたが、もはや単なるアナログ・デジタルの変化としても割り切れないし、“時代のせい”と片付けることも出来ない。人として生まれた以上、人間らしくありたい。ならば鳥や獣と何が違うのかを改めて考えたい。

人間らしくあるためには何が大切なのか? 先ずはそこから考えなければならない。二足歩行ができるから! ? 道具を作ることが出来るから! ? 農耕が出来るから! ? 知能が高いから! ? どれもが人間ならではのものだが、だからと言って人間力が高いとは言わない。改めて「人間力」を考えてみようと広辞苑「第5版」(少し古い)を調べてみたが載っていなかった。ならば、一緒に考えてみよう…。

● 人間力をあえて定義づける

こじつける訳ではないが、私たち人間があるべき姿として自指すものを私なりにまとめてみた。「人間力が高い人」とはものの考え方や行動が、自身の「信念や規律」に裏打ちされ、他者に迎合しない強い「自立心・自律心」を持ち、他者に対しても「優しさと包容力」を持つ人、とまとめましたが、皆さんはどう思われるだろうか…。かつて、私の人生を大きく変わることとなつた、最も尊敬する

とまあ、こんな感じであるが、イマイチしつくりとこない。これら全部を合わせて「人間力」としても收まりはつかない。色々調べてみても、これだという明確な定義がないことが分かった。しかし、ここまで来ると人間力の高い人は、何となくあこがれる存在で、包容力があって、尊敬できるような、総合力の高い人というような気がする。

広辞苑で似たようなものはないかと探しいたら、「人間性」・「人間像」・「人間的」などが見つかった。

①「人間性」は(人間としての本性。人間らしさ。)

②「人間像」は(性格・外見・行動などを通して得られる、その人の姿・イメージ。)

③「人間的」は(人間に特有するさま。動物的・機械的ななどに対する、人の行為・感情のことなどをいう。)

● 人間力とは何ぞや?

つぶやき
がんちゃんの

生活に何かと役立つ連載コラム

生活知恵袋

Vol. 130



齋藤 廣勝(さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®サティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

こちら

保険と暮らしの相談センター

あなたの夢の実現へのお手伝い!!



相談
メニュー

- 家計の総合診断(ライフプラン)
- 保険加入・見直し(生命保険・損害保険)
- 住宅取得、住宅ローンの見直し
- 子どもの教育資金計画
- 年金・老後資金計画

相談料は
無料です!!

TLS

total life support

募集代理店

株式会社
トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

●営業時間／9:30～18:00(土・日・祝9:30～17:00)

●定休日／水曜日

TEL 018-827-7611

Fax 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>



詳細はホームページでも
ご覧いただけます。

上
崎

新
道

山
手
字
路

洋
原
の
山

マ
ク
ド
ナ
ル
ド

エ
ネ
オ
ス

す
ず
き
クリ
ニ
ッ
ク

当
店

某氏は、まさに「人間力」を感じさせ、最初の出会いで私を魅了してしまった。その人は、顔つきも、話し方も、これまでの足跡も、職務への姿勢も、魅力に富んでいて、こんな人になりたいと思わせるような人だ。いくら営業成績や技術などの高い能力や地位を持つ人であっても、自己保身や自己防衛から物事を考え行動する人も少なくない。社会から必要とされる人間になるためにも、改めて自分が理想とする人間像を描きたいのだ。

人間が危ない!!

何を思ってそうかと言わると、「こうだと結論付けることは難しい。しかしながら、特に若者世代でのコミュニケーション能力が低下している気がしてならない。欠勤の届をメールで連絡したり、退職届までメールで済ませるケンスもあるそうだ。社会人にはなったものの、組織の中に溶け込めず孤立してしまうケースも珍しくないようだが、一体何がそうさせているのだろうか…。明らかな変化として、コミュニケーションそのものの取り方が変わってきている。デジタル社会の台頭は、直接訪問の機会を少なくし、手紙を書くことでの伝達や、電話で直接話す機会も著しく減少させてしまった（私もそう）。情報入手の仕方も、本などの紙媒体からインターネットに取って代わった。平成〇九年の文七号による売書漫画と余り

に於ける調査で、「1ヶ月」に全く本を読まない」と答えた人の割合は47・3%であった。また、「読書量は減っている」が67・3%と増加傾向にある。これらも、時代だと言つてしまえばそれまでだが、それが人間力に影響を与えているとすれば放ってはおけない。読書は、集中力・思考力・想像力・表現力などに大きな影響を与えるアイテムだと私は考えるが、皆さんはいかが思われるだろうか。。

人間力は単に「個人としてのスキルではない。家族間や友人関係職場や地域社会など、全てにおいて人間力は関わりを持っている。人間力が失われるということは、個人としての問題に止まらず、社会全体を歪にしてしまいか

◎ 何力影響：

● 何が影響…？

一言で、"これだ"と言い切ることはできな
いが、して"言えば"社会構造そのものが変
わってしまった"とでも言えるのではないだ
ろうか…。家族単位も3世代・4世代の同
居が珍しくなかったが、時代と共に縮小し、
核家族化と少子高齢化が顕著となり、親か
ら子へ、子から孫へ伝える連続性も心配され
る。社会構造の変化は、子どもたちの遊び方
も変えたし、家族間(夫婦・親子・兄弟)の
関わりにさえ影響を及ぼしている。町内会な
どの地域における「情報の共有」や「支え合
う」コミュニティも希薄になつてきている。

先にかっては社会全体が子育てをしてくれていたこと、職場環境も人格を育てる余力があったことを書いたが、今となってはその機能は失われつつある。こんな心配をしているのは私だけだろうか：いまさら元には戻れないかもしれないが、だからと言って、それで良い訳でもない。もし、失われた人間性があるとするならば、何とか取り戻したいものだ。

●人間力を育てる

誰もが自らの手で人間力を壊している筈はないし、それ 자체を認識していないケースの方が多いのかもしれない。誰だって人間力が高い方が良いとは思うだろうし、高めたいと思う筈だ。では一体どうしたら身につくのだろうか？

人間関係そのものが希薄になる中で、社会がその機能を失いつつある。未熟な私ごとに、偉そうに講釈を垂れる資格はないかも知れないが、誰もがそれぞれの環境で持つ知識や情報を持ち寄ることで、「忘れかけた人間性を取り戻す」ことが出来るのかかもしれない。人間力を高めるとは言つても、「一朝一夕にはいかないかも知れないが、まずは身近に

あと書き

“あとがき”なんて言うと聞こえはいいが、実をいうと言い訳だ。今回の原稿を書きながら（実際には書いていない！キーボードで）、おこがましいこと甚だしい。いかにも、分かったようなふりをして、説教じみでいて、お前は何様なのだと言いたくなる。本当は、自己反省に基づくことが多いんだよなあ…。自分自身のコンプレックスをはじめ、夫として、親として、ちっぽけな会社の代表として、社会の一員として学ばねばならないことが多すぎる。



いる人間力の高い人に学ぶことが近道だ。直接的ではなくても、歴史上の人物を知ることでも多くのことを吸収できる。あえて読